



Solo exhibition

2020, 12, 4 (金) ~ 12, 6 (日)

下野 友嗣 SHIMONO YUJI

—空白の器 ひかりかがやくとき—



令和二年度文化芸術普及事業 新人賞サポートプログラム 第十八回千葉市芸術文化新人賞奨励賞受賞  
会場：千葉市中央区中央2-5-1 千葉市文化センター5階 市民サロン  
主催・問い合わせ：(公財)千葉市文化振興財団 043(221)2411  
共催：千葉市 後援：千葉市教育委員会

令和2年12月4日（金）～6日（日）

4日 11時～18時

5日 10時～18時

6日 10時～17時

入場無料

Solo exhibition

下野 友嗣 SHIMONO YUJI  
—空白の器 ひかりかがやくとき—

本展でご覧頂くのは、鉄錆をモチーフにした作品です。私は長年、鉄錆を使った作品を制作しています。普段とは違う鉄錆の魅力を感じて頂きましたら幸甚に存じます。

### 空白の器

内側に「何もない空間」が囲まれている所、何もない空間であるからここは何かが入るかもしれないという可能性が生まれる。この「かもしれない」という可能性が重要であり、その潜在性に対して手を合わせるという意識の動きが神道の信仰心である。

白（しろ） 原研哉 中央公論新社より

隕石は精子であり、卵子である星とぶつかり爆発すると新たな命の誕生になる。地球の場合は爆発によって『鉄』という命の源を作りました。また鉄が錆びる環境だから私達が生まれる事ができ、鉄は地球上の生命にとってはスタート地点であり、まわりの環境に影響され多種多様な生物が進化しました。錆が発生する現象は科学でも実証されていることですが、この現象はアニミズムであり現代の私達の文明より巨大な力を持ち、理解しきれないものがあります。気候変動や災害、感染症により世界中が大きな危機を迎えるいま、私たちは自然を採取可能な資源という考え方について、限界がきているのではないのでしょうか。今回の展示会のタイトルである『空白の器』は、私達の身近な日常生活に存在していますが、急に存在するものですからキャッチ出来ず流されてしまう事があります。その『空白の器』をキャッチして熟成させるかのようにかがやくと、私達の生活はどれだけ豊かになるのかと思います。

1984年 兵庫県生まれ  
2007年 大阪芸術大学 美術学科卒業  
2017年 家族の事情により千葉市に転居

### Solo exhibition

2010年7月 gallery A O（兵庫）  
2011年4月 泉地靖雄美術館アーティストハウス（岡山）  
『あいさつをするくま』  
2011年4月 art space gallery MARU（韓国 昌原）  
2020年7月 gallery 301（兵庫）『空白の器 ひかりかがやく』  
11、12、13、14、15、16  
関西を中心にその他、各地域（海外も含む）にて  
芸術祭、アーティストレジデンス、アートフェア  
、グループ展、ワークショップ等を行う。

会場：千葉市文化センター  
5階市民サロン  
千葉市中央区中央2-5-1

主催・問い合わせ：（公財）千葉市文化振興財団 043（221）2411 共催：千葉市 後援：千葉市教育委員会

